



丹波篠山の妻入商家群にて
(写真提供：佐伯泰英事務所)

佐伯通信

2018年11月(平成30)
第45号
発行 佐伯泰英事務所
担当/新潮社
禁・無断転載

日本最古の劇場 南座開場式

時代小説の第一作『密命』
刊行から来春で二十年目を迎
える。といつてこの齢だ、「自
分にご褒美」だなんて若い世
代のような考えはない。

この数年、京都を訪ねる機
会が多い。京都四條南座は二

年にわたる大規模改修により
休みだった。さぞ京都の歌舞
伎ファンは寂しい想いをされ
ていたことだろう。だが、目
出度くも、発祥四百年の大規
模改修も終わり、今年十一月
の吉例顔見世興行から再開す
ること、嬉しいかぎりだ。
これまで南座で歌舞伎見物を
したことはない。節目の記念
に切符をとろうかと娘と話し
ていた矢先、な、なんと開場
式の招待状が届いた。「えっ、
嘘だろ」みたいな話だ。南座
は収容人数は千人ほどだ。お
招き頂いた理由は「居眠り磐

佐伯泰英／近刊のお知らせ

2月 8日	1月 4日	12月 14日
1 『陽炎ノ辻』 刊行スタート！	『鼠草紙』 「佐伯通信」第46号が入ります。 〔初版の初回出荷分にのみ挟み込み〕	『奈緒と磐音』 「文春文庫」
新・酔いどれ小籐次 13 「鼠草紙」	『居眠り磐音』 「文春文庫」	『空也十番勝負 青春篇』 「双葉文庫」

近刊・作品情報はここでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2018年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)双葉社、(株)光文社

いよいよ

新潮社 新潮文庫編集部
「古着屋総兵衛始末」「新・古着屋総兵衛」担当

佐吉



新・古着屋総兵衛第17巻『いざ帰りなん』のお買い上げ、
ありがとうございます。いよいよ、次の18巻で最終巻となり
ます。古着屋総兵衛始末シリーズの11巻に、『光圀』の1巻、
そして新シリーズの17巻で、しめて29巻が刊行されたわけ
です。感慨深いものがございます。一言で申し上げますと本シ
リーズは「武と商」に生きる鷹沢一族の物語でございます。

佐吉といたしましては、常日頃、版元の小僧として「商」に
生きている訳ですが、「武」の練磨も課題です。というわけで
実は、今夏、古武術の「新陰流」に入門しました。愛洲移香斎
の「陰流」を受けて、上泉伊勢守が「新陰流」に練り上げ、柳
生石舟斎が弘めた「新陰流」です。但馬守宗矩や十兵衛の江戸
柳生と兵庫助利蔵や連也斎の尾張柳生に別れたわけですが、尾
張柳生の系統のそれを学んでおります。450年の時を経て、肅
肅と技を繋いできた人たちがいたんですね。

一刀両断、合撃、雷刀、……書物で字面しか見たことがない
秘伝の技の数々を惜しみなく教えていただいております。合理
的な技の向こうにある神秘的な技というものがちゃんと伝わっ
ているのが感動的です。総兵衛様の「ゆったりとした舞のよう
な」落花流水剣の秘密もこうした古武術に潜んでいると思うの
です。

さあ、いよいよ次巻は最終巻です。総兵衛様がバタヴィアへ
と向かいます。楽しみです、寂しいです。うう(泣)。

音」の映画化と関わりがあり
そう。ともかく宝くじにあ
たるくらい確率は低くはない
か。これは万難を排しても京
都に行かねばなるまい。先の
西日本大豪雨の被害に京都も
見舞われ、一時的に観光客が
減少したとか。京都のシンボ
ルの一つ南座の再開で大きな
灯りが点った。十月二十七日、
お祝いの寿式三番叟と祇園
お練りを見物に参ります。
万歳！

「佐伯通信」第46号は、2月
8日刊行予定の「新・酔い
どれ小籐次13 鼠草紙」
(文春文庫)に入ります。

書き下ろし新作
『奈緒と磐音』
居眠り磐音
二〇一九年一月刊行！

「居眠り磐音」の書き下ろし
新作『奈緒と磐音』を、二〇
一九年一月に発売。運命に翻
弄されて別々の道を歩むこと
になった二人の関前藩での幸
福だった日々を描きます。

お練りを見物に参ります。
万歳！

出版社からのお知らせ 文春文庫

を発売し、以後は毎月二冊ず
つの刊行を予定しています。
決定版の刊行を記念し、映
画鑑賞券などが当たる読者
プレゼント企画を予定してい
ます。さらに、全五十一巻の
カバーに記念プレゼントの応募
券がついています。どうぞ、
カバール保管いただきますよ
う、お願いいたします。

映画「居眠り磐音」
五月 全国公開！

佐伯作品初の映画化！
主演は松坂桃李。五月十七日
に松竹系で全国公開されます。

詳しくは、文春文庫のオビ、新聞
広告「居眠り磐音」特設サイトな
どをご覧ください。

刊行記念プレゼント 応募締切
2019年3月31日(日)